

# 鶴岡市ボランティアセンターだより

発行・お問合わせ  
鶴岡市社会福祉協議会  
鶴岡市ボランティアセンター  
〒997-0033 鶴岡市泉町 5-30  
Tel: 23-2970 Fax: 23-9110  
E-mail: shk-vol2@shk01.jp

## 除雪ボランティア 募集します

地域貢献活動を行いたい  
企業・団体・大学の皆様へ！



～山間部で困っている方のために～

鶴岡の市街地等では、雪かきができない一人暮らし高齢者等のために、町内会単位で支援する仕組みをつくるころが増えていますが、これまで地域住民や親族等の地縁組織で助け合っていた山間部の豪雪地帯などでは、少子高齢社会の影響によりその環境に変化が出ており、地域外の人たちの協力をいただかないと自宅周辺の除排雪ができずに困ってしまう人たちも増えつつあります。



▲ソニーセミコンダクタ M株の  
皆さんが固い雪を崩してくれた！



▲三和メイテック株の皆さんが、  
埋まっていた1階を開けてくれた！

### 企業の除雪ボランティア活動 少しずつ増えています！

平成30年度には、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株の皆さんが朝日南部地区で、令和2年度には三和メイテック株と新潟市に本社がある敦井産業株の皆さんが朝日東部地区で、一人暮らし高齢者宅等の除排雪、雪下ろし等の活動をして下さいました。地元の自治振興会や福祉センター等と連携しながら、企業の皆さんの協力をいただくことができました。

今後、そのような企業、団体、大学等が増えてほしいとの思いから、「ボランティア・公益活動研修会」を右の案内チラシのように開催しますので、関心がある方はぜひお気軽にご参加下さい！

～ 鶴岡の地域課題「除雪の担い手不足」～

### 令和3年度 ボランティア・公益活動 研修会

山間部豪雪地帯の除雪等を、地域の人たちだけでは対応できないことがあることを知っていただき、企業・団体・大学生などの皆さんのボランティア活動・地域貢献活動として応援してもらいたい！

令和3年12月10日（金）  
14:00～16:30（受付 13:30～）  
鶴岡市総合保健福祉センターにこ♥ふる  
3階大会議室

◎話題提供 「鶴岡市の雪に関する地域課題」 鶴岡市社会福祉協議会  
◎活動紹介 ・鶴岡市内で除雪支援活動を行っている企業・団体、  
・企業等のボランティア活動を受け入れている地域組織

◎講演 演題「除雪ボランティアを通じた  
鶴岡の新たな地域福祉のかたち」  
講師 東北公益文科大学  
准教授 小関 久恵 氏

詳細、申込み等は、別紙実施要項をご覧ください！

主催 社会福祉法人鶴岡市社会福祉協議会  
共催 鶴岡市  
後援 鶴岡市ボランティア連絡協議会  
協力 公益社団法人鶴岡青年会議所

お問合せ・参加申込先 鶴岡市ボランティアセンター ☎0235-23-2970

### 温海福栄地域で 「有償除雪ボランティア活動」開始

～福栄地域協議会「福の里」の取組です～

高齢者や障がい者世帯などで除排雪が困難な家庭のお手伝いをしていただける方を募集しています。

- ◆活動地区 木野俣、温海川、越沢、菅野代の4集落
- ◆活動内容 玄関から道路までの通路や住宅周辺の除雪  
屋根から下した雪の片づけ等
- ◆活動謝礼 実施要綱にもとづき謝礼が支払われます
- ◆申込・問合先 「福の里除雪部会」  
鶴岡市温海庁舎総務企画課（伊藤さん）  
電話 0235-43-4611 FAX0235-43-4632

### 地域の一員として感謝の活動！ ～今年創業したばかりの会社～

鶴岡市寺田に、今年新たに創業した株式会社ヒューマンテックの皆さんが、10月15日（金）会社がある地域を中心に、道田町から白山までの沿線にある



17本のカーブミラーの清掃と不良箇所等の確認を行うボランティア活動を行いました。活動前後には、当ボランティアセンターにも連絡をいただき、作業で確認できた6本の不良箇所を市防災安全課に報告する等、市民の安全に繋がる地域貢献活動を実践されました。

# 地道なボランティア活動に感謝いたします！

～ 令和3年度 表彰状・感謝状を受賞した方々 ～

今年度も、地道にボランティア活動を行ってきた多くの団体が表彰されました。特に、平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」から10年となり、被災地や鶴岡の避難者のために尽力していただいた団体等に対する感謝状は、鶴岡市社協の他に福島県南相馬市からの贈呈もありました。

※鶴岡市青少年育成市民会議表彰の2団体は、前号で紹介しており今回は掲載しておりません。

## 山形県・県民福祉大会会長表彰 社会福祉事業協助・奉仕者

- ◎鶴岡点字サークル（点字通訳による視覚障がい者支援等）
- ◎櫛引青年サークル「くしびギン」（若者たち地域づくり活動等）

## 鶴岡市社会福祉協議会会長表彰 社会福祉活動奉仕者

- ◎武久明雄・利江子夫妻（福祉学習講師、若者応援等）
- ◎グリンギターフィールズ（ギター演奏を通じた青少年健全育成）

## 鶴岡市社会福祉協議会会長感謝状 東日本大震災被災者支援10年継続

- ◎フクシマの子どもの未来を守る家（原発被災親子等の保養支援等）
- ◎子ども支援ボランティア「チーム飛躍」（避難親子支援、学習支援等）
- ◎曹洞宗山形県第三宗務所（被災地避難所、仮設住宅等で傾聴活動）
- ◎NPO 法人鶴岡災害ボランティアネットワーク（被災地支援、交流等）

## 福島県南相馬市長より感謝状贈呈！

※コロナ禍により各団体へ郵送  
東日本大震災直後の混乱期、またその後10年間の地道な活動。南相馬市の方々に対してボランティア活動を行ってくれた鶴岡の多くの団体等に感謝状が贈呈されました。ここでは鶴岡市ボランティアセンターと連携した5つの団体を紹介します。

（活動内容は省略）

- ◎フクシマの子どもの未来を守る家
- ◎子ども支援ボランティア「チーム飛躍」
- ◎南相馬市「高松ホーム」避難看護支援ボランティアグループ
- ◎公益社団法人隊友会鶴岡田川支部
- ◎東日本大震災原発被災者復興支援落語を楽しむ会実行委員会（六学区）

令和3年度 鶴岡市社会福祉協議会 表彰状贈呈式



▲フクシマの子どもの未来を守る家の高橋代表へ！

令和3年度 鶴岡市社会福祉協議会 表彰状贈呈式



▲子ども支援ボランティア「チーム飛躍」の岩松代表へ！



▲南三陸町での「行茶傾聴活動」（曹洞宗の皆さん）



▲石巻市でのかたづけ作業（鶴岡災害ボラNWとボランティア）

## 若者が描いたイラストが見事に生まれ変わった！

ボランティアセンターの「ちょボラ場」活動に参加していた20代のM君が、時間をかけてコツコツと描いてくれた50枚のポケモンキャラクターのイラスト。就職が決まり、働き始めた彼が残してくれたそのイラストが、このたび『五十音カード』に生まれ変わり、児童館や地域の活動等で楽しい脳トレゲームとして活用されています。

《M君より》イラストを描くことが大好きで、ちょボラ場の日にボランティアセンターに行ってキャラクターを描くのが楽しかった。それが、カードになって人の役に立っていると聞いて「まさか、そんなことになっているとは…ビックリ！！とってもうれしいです」



▲M君が描いたイラストが、2人の東北公益文科大学生も手伝ってくれて「五十音カード」になり、2人は児童館等に届けてくれた！

## 「助成金紹介講座」のお知らせ！

NPO 法人やまがた絆の架け橋ネットワーク主催

- ◆日時 令和3年12月13日(月)14:00～16:00
- ◆場所 酒田市地域福祉センター(酒田市新橋2-1-19)
- ◆紹介される予定
  - ①やまがた社会貢献基金
  - ②山形県子どもの居場所運営支援事業費補助金
  - ③紅花ふれあい基金
  - ④購入型クラウドファンディング山形サポート
  - ⑤公益信託荘内銀行ふるさと創造基金
  - ⑥山形コミュニティファンド(市民活動支援基金)
- ◆参加対象 NPO法人、市民活動団体等
- ◆参加費 無料
- ◆申込み
 

12月10日(金)まで電話、FAX等で  
NPO 法人やまがた絆の架け橋ネットワークへ  
電話0237-85-1070 FAX0237-85-1071

◎申込書は鶴岡市ボランティアセンターにもあります！

《らくがき》 コロナ禍も、ようやく落ち着いたかと思っていれば、今度は新たな変異株「オミクロン」が確認されて世界中を不安にさせ始めています。季節はもう冬、そろそろ活気ある師走と穏やかな正月を過ごせることを願うばかりです。(H)

